

年間授業計画 様式例

高等学校 令和7年度（1 学年用） 教科 芸術 科目 書道Ⅰ
教 科： 芸術 科 目： 書道Ⅰ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（1～8 組：笠原）

使用教科書：（教育出版 書道Ⅰ ）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	・書写から書道へ 書写と書道との関係や考え方の違いを理解し、今後の学習への意欲を高める。姿勢・執筆や用具・用材について理解できるようにする。	書道の学習に必要な用具・用材について理解し、丁寧に扱う態度を養う。基本の姿勢・執筆について、目的に合わせて多様な方法があることを理解する。 使用教材 教科書・文房四宝	書写と書道との関係や考え方の違いを理解し、今後の学習への意欲を高めようとしている。姿勢・執筆や用具・用材について理解している。	○	○	○	2
	・漢字の書（1） 漢字の五書体の変遷、仮名の成立等を理解することができるようにする。また、楷書の古典の種類を知り、法帖を通して基本的な点画や線質の表し方を理解し、そこから受ける印象の違いを感じることができるようにする。	漢字の五書体の変遷について理解する。唐の四大家の概要を知り、作品の比較を通してそれぞれの美を感じ得る。 使用教材 教科書・文房四宝	漢字の五書体の変遷、仮名の成立等を理解している。楷書の古典の種類を知り、法帖を通して基本的な点画の線質の表し方を理解し、そこから受ける印象の違いを感じる力を身に付けている。	○	○	○	4
	・漢字の書（2） 楷書古典の臨書を通して、それぞれの特徴と書法を理解し、楷書の基本的用筆法を習得することができるようにする。	古典題材 九成宮醴泉銘 孔子廟堂碑 雁塔聖教序 顔氏家廟碑 牛橛造像記 鄭義下碑	楷書の古典の臨書を通して、それぞれの特徴と書法を理解し、楷書の基本的用筆法を習得している。	○	○	○	12
	・漢字の書（3） 楷書の古典の学習を活かして、主体的・意欲的に作品を制作する。また、友達や他の創作作品を鑑賞することにより、幅広い表現や多様の美を理解し深く味わうことができるようにする。	創作の手順に従い、今までの授業で学んだ古典の特徴や技能を活かして創作する。また、創作作品を鑑賞することにより、そのよさや美しさを味わう能力を伸ばす。 使用教材 教科書・法帖・五體字類 文房四宝	楷書の古典の学習を活かして、主体的に自己表現する力を養うことができる。また、友達や他の創作作品を鑑賞することにより、幅広い表現や多様の美を理解し、書のよさや美しさを味わって捉えている。	○	○	○	6
2 学 期	漢字の書（4） 行書古典の臨書を通して、それぞれの特徴と書法を理解し、行書の基本的用筆法を習得することができるようにする。	古典題材 蘭亭序 祭姪稿 風信帖 使用教材 教科書・文房四宝	行書の古典の学習を活かして、それぞれの特徴と書法を理解し、行書の基本的用筆法を習得している。	○	○	○	12
	仮名の書 平安時代の代表的な古筆を鑑賞し、連綿の流動美、行書きや散らし書きなどの全体構成について考える。古筆の臨書学習を通して、それぞれの特徴と書法を理解し、仮名の基本的用筆法を習得することができるようにする。	古典題材 蓬萊切 高野切第三種 使用教材 教科書・文房四宝	仮名の古典の学習を活かして、それぞれの特徴と書法を理解し、仮名の基本的用筆法を習得している。	○	○	○	14

3 学 期	漢字仮名交じりの書(1) 漢字と仮名の調和の重要性を確認し、主体的・意欲的に創作を行う。また作品を鑑賞することにより、それぞれに込められた思いと照らし合わせ、背景などを推察しながら深く味わうことができるようにする。	漢字と仮名の調和の重要性を確認し、そのための工夫について考えて創作する。友達や他の作品を鑑賞することにより、書のよさや美しさを味わって捉える。 使用教材 教科書・法帖・五體字類 文房四宝	漢字と仮名の調和の重要性を理解し、今まで学んできた用筆・運筆の技能、字形、全体の構成について工夫がなされている。漢字の古典や創作作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。	○	○	○	16
	漢字仮名交じりの書(2) 手書き文字による手紙の長所について考え、伝統的な書式を活かして整正に書くことができるようにする。今後の生活に書を活かすにはどのようにしたらよいかを考える態度を養う。	基本的な手紙の書き方や、封筒、はがきの表書きなど、定型書式の書き方を確認する。 使用教材 教科書・筆記用具 身のまわりの書	生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養っている。	○	○	○	4
							合計 70